



## 2025年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社INPEX 上場取引所 東  
 コード番号 1605 URL <https://www.inpex.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 吉田 昌平 (TEL) 03-5572-0750  
 問合せ先責任者 (役職名) ジェネラルマネージャー (氏名) 吉田 昌平 (TEL) 03-5572-0750  
 定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 2026年3月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
2025年12月期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	2,011,351	△11.2	1,135,440	△10.7	1,173,473	△9.7	429,638	△1.1	393,836	△7.8	166,199	△81.1
	2,265,837	4.7	1,271,789	14.1	1,298,811	3.6	434,238	30.6	427,344	32.8	878,096	42.3

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
2025年12月期	円 銭 330.82	円 銭 330.56	% 8.2	% 15.5	% 56.5
2024年12月期	345.31	345.07	9.5	18.4	56.1

(参考) 持分法による投資損益 2025年12月期 72,099百万円 2024年12月期 104,831百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
2025年12月期	百万円 7,735,198	百万円 5,022,903	百万円 4,747,158	% 61.4	円 銭 4,073.44
2024年12月期	7,380,863	5,137,833	4,821,805	65.3	4,026.22

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年12月期	百万円 693,893	百万円 △668,734	百万円 △110,730	百万円 168,407
2024年12月期	654,737	△290,401	△349,937	241,675

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分比率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 43.00	円 銭 —	円 銭 43.00	円 銭 86.00	百万円 105,223	% 24.9	% 2.3
2025年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00	118,241	30.2	2.5
2026年12月期(予想)	—	54.00	—	54.00	108.00		38.1	

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
第2四半期(累計) 通期	百万円 971,000 1,893,000	% △7.4 △5.9	百万円 476,000 957,000	% △22.8 △15.7	百万円 500,000 1,000,000	% △22.5 △14.8	百万円 150,000 330,000	% △32.9 △16.2	円 銭 128.71 283.17

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無  
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2025年12月期	1,259,136,067株	2024年12月期	1,259,136,067株
2025年12月期	93,742,368株	2024年12月期	61,536,239株
2025年12月期	1,190,484,943株	2024年12月期	1,237,578,149株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式 (2025年12月期 1,012,209株、2024年12月期 827,850株) が含まれております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	187,115	△37.6	96,499	72.3	88,145	△58.2	92,998	△64.5
2024年12月期	299,751	13.0	56,017	163.4	210,933	433.8	261,994	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
		円 銭	円 銭
2025年12月期	78.12	—	—
2024年12月期	211.70	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年12月期	2,876,488		1,839,231		63.9		1,578.21	
2024年12月期	2,743,233		1,950,841		71.1		1,628.96	

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,839,231百万円 2024年12月期 1,950,841百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

前事業年度において、子会社である株式会社INPEX JAPANへ当社の国内における石油・天然ガス事業等を承継させたことにより収益構造が変化しました。その結果、2024年10月以降に発生した関係会社からの受取配当金・業務受託収入を営業収益として計上しております。また、関係会社からの受取配当金や関係会社株式売却益の減少及び前事業年度に計上した子会社であった株式会社INPEXトレーディングとの吸収合併による抱合せ株式消滅差益の剥落等により、個別業績につきまして前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページをご参照ください。

## (甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 17,200.00	円 銭 —	円 銭 17,200.00	円 銭 34,400.00
2025年12月期	円 銭 —	円 銭 20,000.00	円 銭 —	円 銭 20,000.00	円 銭 40,000.00
2026年12月期（予想）	円 銭 —	円 銭 21,600.00	円 銭 —	円 銭 21,600.00	円 銭 43,200.00

(注) 2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式（非上場）につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(その他の営業収益)	16
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 生産、受注及び販売の状況	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に緩やかな回復基調にありますが、米国の通商政策の影響や、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響、国際紛争等による景気の下振れリスクには留意する必要があります。加えて、金融資本市場の変動等の影響は引き続き懸念されています。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす国際原油価格は、代表的指標の一つであるブレント原油（期近物終値ベース）で当期は1バレル当たり70米ドル台半ばから始まり、米国によるイランやロシアへの制裁による供給懸念から一時的に上昇する場面も見られましたが、米中の関税をめぐる対立等、相互関税による経済停滞懸念や、OPEC+による自主減産の段階的な緩和により、年間を通して下落傾向が見られ、期末には60.85米ドルとなりました。これらを反映して、当期における当社グループの原油の平均販売価格は、前期に比べ、1バレル当たり10.51米ドル下落し、70.69米ドルとなりました。

一方、業績に重要な影響を与えるもう一つの要因である為替相場ですが、当連結会計年度は1米ドル157円台で始まりました。年前半は、日米金利差の拡大を背景に、1月初旬に一時158円台まで円安が進行しましたが、米国の関税政策に伴う世界的な景気後退懸念が強まり、4月には141円台前半まで円高が進みました。その後は、米中の関税引き下げ合意を受けて反発しつつ、日銀の追加利上げ見送りやFRBの利下げ観測を背景に円安方向へ転じ、144円台で上半期を終えました。年後半は、日本の参院選後の政権交代を受け積極財政・金融緩和志向が意識され、一貫して円安基調で推移し、11月にはFRBの利下げ観測後退も相まって、157円台をつけました。年末にかけては、米国の雇用・物価指標の弱さに加え、日銀による早期利上げ観測の強まりから、一時円安がやや後退する場面もありましたが、積極財政による日本の財政健全性への懸念や、旅行収支頭打ち・デジタル赤字といった構造的な円需給の弱さ等を背景に、円安圧力はなお残り、期末公示仲値（TTM）は、前期末から1円63銭円高の156円54銭となりました。なお、当社グループ売上の期中平均レートは、前期に比べ、2円13銭円高の1米ドル149円60銭となりました。

このような事業環境の中、当社グループの当期連結業績につきましては、原油の販売価格の下落により、売上収益は前期比2,544億円、11.2%減の2兆113億円となりました。このうち、原油売上収益は前期比1,817億円、10.6%減の1兆5,302億円、天然ガス売上収益は前期比771億円、14.7%減の4,480億円となりました。当連結会計年度の販売数量は、原油が前期比5,696千バレル、4.1%増の144,673千バレルとなり、天然ガスは前期比26,849百万立方フィート、5.7%減の446,818百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前期比15,048百万立方フィート、3.9%減の366,659百万立方フィート、国内天然ガスは、前期比316百万立方メートル、12.8%減の2,148百万立方メートル、立方フィート換算では80,159百万立方フィートとなりました。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり70.69米ドルとなり、前期比10.51米ドル、12.9%下落、海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり5.10米ドルとなり、前期比0.63米ドル、11.0%下落、また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり78円61銭となり、前期比0円37銭、0.5%上昇しております。売上収益の平均為替レートは1米ドル149円60銭となり、前期比2円13銭、1.4%の円高となりました。

売上収益の減少額2,544億円を要因別に分析しますと、販売数量の増加により365億円の増収、平均単価の下落により2,693億円の減収、売上の平均為替レートが円高となったことにより260億円の減収、その他の売上収益が44億円の増収となりました。

一方、売上原価は前期比507億円、5.5%減の8,645億円、探鉱費は前期比366億円、68.6%減の167億円、販売費及び一般管理費は前期比164億円、12.3%減の1,180億円、その他の営業収益は前期比482億円、134.7%増の841億円、その他の営業費用は前期比12億円、4.1%増の328億円、持分法による投資利益は前期比327億円、31.2%減の720億円となりました。以上の結果、営業利益は前期比1,363億円、10.7%減の1兆1,354億円となりました。なお、当連結会計年度のその他の営業収益には、イクシスLNGプロジェクトを構成するINPEX Holdings Australia Pty Ltdの資本金を一部有償減資したことに伴い、在外営業活動体の換算差額の累計額を資本から純損益に振り替えた影響347億円を含んでおります。

金融収益は前期比292億円、19.6%減の1,201億円、金融費用は前期比403億円、32.9%減の821億円となりました。以上の結果、税引前利益は前期比1,253億円、9.7%減の1兆1,734億円となりました。

法人所得税費用は前期比1,207億円、14.0%減の7,438億円、非支配持分に帰属する当期利益は前期比289億円、419.3%増の358億円となりました。以上の結果、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比335億円、7.8%減の3,938億円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

① 国内石油・天然ガス事業（国内O&G）

販売数量の減少により、売上収益は前期比247億円、11.4%減の1,921億円となりましたが、売上原価の減少等により、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比87億円、64.3%増の224億円となりました。

② 海外石油・天然ガス事業（海外O&G）－ イクシスプロジェクト

販売価格の下落により、売上収益は前期比581億円、15.6%減の3,150億円となりましたが、探鉱費の減少等により、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比225億円、9.1%増の2,708億円となりました。

③ 海外石油・天然ガス事業（海外O&G）－ その他のプロジェクト

販売価格の下落により、売上収益は前期比1,709億円、10.3%減の1兆4,869億円となり、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比339億円、20.5%減の1,317億円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は前連結会計年度末比3,543億円増の7兆7,351億円となりました。このうち、流動資産はその他の金融資産の増加等により、前連結会計年度末比2,388億円増の1兆1,090億円、非流動資産は持分法で会計処理されている投資の増加等により、前連結会計年度末比1,154億円増の6兆6,261億円となりました。

一方、負債合計は前連結会計年度末比4,692億円増の2兆7,122億円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末比3,060億円増の8,396億円、非流動負債は前連結会計年度末比1,632億円増の1兆8,726億円となりました。

資本合計は前連結会計年度末比1,149億円減の5兆229億円となりました。このうち、親会社の所有者に帰属する持分は前連結会計年度末比746億円減の4兆7,471億円、非支配持分は前連結会計年度末比402億円減の2,757億円となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当社グループの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末の2,416億円から当連結会計年度中に減少した資金855億円を除き、換算差額123億円を加えた結果、当連結会計年度末において1,684億円となりました。

当連結会計年度における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前利益の減少等があったものの、営業債権及びその他の債権の減少や法人所得税の支払額の減少等により、営業活動の結果得られた資金は前期比391億円増の6,938億円となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資の取得による支出の増加や定期預金の払戻による収入の減少等により、投資活動の結果使用した資金は前期比3,783億円増の6,687億円となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

非支配持分への配当金の支払額の増加等があったものの、コマーシャル・ペーパーの純増加額の増加や短期借入金の増加等により、財務活動の結果使用した資金は前期比2,392億円減の1,107億円となりました。

## (4) 今後の見通し

通期	2025年12月期 (実績)	2026年12月期 (予想)	増減率
売上収益 (億円)	20,113	18,930	△5.9%
営業利益 (億円)	11,354	9,570	△15.7%
税引前利益 (億円)	11,734	10,000	△14.8%
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (億円)	3,938	3,300	△16.2%

次期の見通しにつきましては、売上収益は、第2四半期連結累計期間で当期比7.4%減収の9,710億円、通期では当期比5.9%減収の1兆8,930億円を見込んでおり、営業利益は、第2四半期連結累計期間で当期比22.8%減益の4,760億円、通期では当期比15.7%減益の9,570億円を見込んでおります。

また税引前利益は、第2四半期連結累計期間で当期比22.5%減益の5,000億円、通期では当期比14.8%減益の1兆円となる見込みであり、親会社の所有者に帰属する当期利益は、第2四半期連結累計期間で当期比32.9%減益の1,500億円、通期では当期比16.2%減益の3,300億円となる見込みです。

売上収益については、イクシスを始めとする主要プロジェクトにおいて安定生産を維持する中で、前提を当期比で油価安に設定したこと等により、通期で減収の見込みとなっております。営業利益についても、主にアジア地域における探鉱活動の増加を背景とした探鉱費の増加等により、当期比で減益となる見込みです。従って、税引前利益および当期利益についても、上記理由に応じて、当期比で減益となる見込みです。

なお、上記見通しは、油価（ブレント）を、1バレル当たり通期平均で63米ドル、為替レートを通期平均で1米ドル151円として算出しております。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

2025年2月13日公表の「2025-2027中期経営計画」でお示しした株主還元方針において、2025年度から2027年度の中期経営計画期間中は、1株当たり年間90円を起点とする累進配当による安定的な還元に加え、事業環境や財務・経営状況を踏まえつつ機動的な自己株式取得も行うことで総還元性向50%以上を目指し、業績の成長にあわせて株主還元を強化していくことを基本方針としております。

上記還元方針を踏まえ、当事業年度の剰余金の配当につきまして、普通株式の期末配当金は1株当たり50円とし、中間配当金の1株当たり50円とあわせ、1株当たり年間100円を予定しております。また、甲種類株式（非上場）の期末配当金は1株当たり20,000円とし、中間配当金の1株当たり20,000円とあわせ、1株当たり年間40,000円を予定しております。

次期の配当予想額につきましては、普通株式は1株当たり中間配当金54円、期末配当金54円の1株当たり年間108円を予定しております。また、甲種類株式は1株当たり中間配当金21,600円、期末配当金21,600円の1株当たり年間43,200円を予定しております。

なお、2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務情報の国際的な比較可能性と会計処理統一によるグループ経営管理の向上を目的として、国際会計基準（IFRS）を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>資産</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び現金同等物	241,675	168,407
営業債権及びその他の債権	267,476	263,055
棚卸資産	67,241	68,389
未収法人所得税	6,982	19,397
貸付金	45,659	54,305
その他の金融資産	166,400	477,393
その他の流動資産	57,430	58,145
小計	852,865	1,109,093
<b>売却目的で保有する資産</b>	17,341	—
<b>流動資産合計</b>	<b>870,206</b>	<b>1,109,093</b>
<b>非流動資産</b>		
石油・ガス資産	3,855,226	3,888,982
その他の有形固定資産	28,864	25,576
のれん	20,515	46,551
無形資産	17,015	31,360
持分法で会計処理されている投資	948,075	1,024,925
貸付金	1,433,298	1,409,382
その他の金融資産	123,557	116,765
退職給付に係る資産	904	980
繰延税金資産	64,555	62,145
その他の非流動資産	18,644	19,434
<b>非流動資産合計</b>	<b>6,510,656</b>	<b>6,626,104</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,380,863</b>	<b>7,735,198</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
<b>流動負債</b>		
営業債務及びその他の債務	192,576	217,690
社債及び借入金	193,847	541,482
その他の金融負債	54,951	37,183
未払法人所得税	63,960	13,040
資産除去債務	15,277	15,885
その他の流動負債	13,050	14,381
流動負債合計	533,663	839,663
<b>非流動負債</b>		
社債及び借入金	870,064	703,264
その他の金融負債	62,950	46,589
退職給付に係る負債	1,321	1,358
資産除去債務	381,660	477,817
繰延税金負債	388,217	628,151
その他の非流動負債	5,151	15,448
非流動負債合計	1,709,366	1,872,631
<b>負債合計</b>	<b>2,243,029</b>	<b>2,712,295</b>
<b>資本</b>		
<b>資本金</b>	290,809	290,809
<b>資本剰余金</b>	458,254	454,020
<b>利益剰余金</b>	3,073,530	3,345,830
<b>自己株式</b>	△131,235	△221,629
<b>その他の資本の構成要素</b>	1,130,446	878,127
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	4,821,805	4,747,158
<b>非支配持分</b>	316,027	275,745
<b>資本合計</b>	5,137,833	5,022,903
<b>負債及び資本合計</b>	<b>7,380,863</b>	<b>7,735,198</b>

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	2,265,837	2,011,351
売上原価	△915,310	△864,515
売上総利益	1,350,527	1,146,836
探鉱費	△53,350	△16,733
販売費及び一般管理費	△134,512	△118,032
その他の営業収益	35,832	84,100
その他の営業費用	△31,537	△32,829
持分法による投資損益	104,831	72,099
営業利益	1,271,789	1,135,440
金融収益	149,491	120,194
金融費用	△122,469	△82,161
税引前利益	1,298,811	1,173,473
法人所得税費用	△864,573	△743,835
当期利益	434,238	429,638
当期利益の帰属		
親会社の所有者	427,344	393,836
非支配持分	6,894	35,801
当期利益	434,238	429,638
1株当たり当期利益		
基本的 1株当たり当期利益 (円)	345.31	330.82
希薄化後 1株当たり当期利益 (円)	345.07	330.56

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期利益	434,238	429,638
<b>その他の包括利益</b>		
純損益に振り替えられることのない項目		
在外営業活動体の換算差額	△17,709	△93,567
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△2,309	26
確定給付制度の再測定	△183	△411
純損益に振り替えられることのない項目合計	△20,201	△93,952
<b>純損益に振り替えられる可能性のある項目</b>		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△2,376	4,670
在外営業活動体の換算差額	477,352	△166,537
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△130	2,641
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△10,785	△10,261
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	464,059	△169,486
その他の包括利益合計	443,857	△263,438
当期包括利益	878,096	166,199
<b>当期包括利益の帰属</b>		
親会社の所有者	842,911	129,448
非支配持分	35,184	36,751
当期包括利益	878,096	166,199

## (3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2024年1月1日残高	290,809	679,131	2,746,530	△221,330	694,996	30,224
当期利益	—	—	427,344	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	431,352	△13,162
当期包括利益合計	—	—	427,344	—	431,352	△13,162
自己株式の取得	—	—	—	△130,000	—	—
自己株式の処分	—	△95	—	95	—	—
自己株式の消却	—	△219,999	—	219,999	—	—
配当金	—	—	△100,278	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△983	—	—	855	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	200	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△64	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△220,877	△100,343	90,094	855	—
2024年12月31日残高	290,809	458,254	3,073,530	△131,235	1,127,203	17,062

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素	合計			非支配持分	合計
		その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計		
2024年1月1日残高	△11,261	—	713,959	4,209,101	289,932	4,499,033
当期利益	—	—	—	427,344	6,894	434,238
その他の包括利益	△2,440	△183	415,566	415,566	28,290	443,857
当期包括利益合計	△2,440	△183	415,566	842,911	35,184	878,096
自己株式の取得	—	—	—	△130,000	—	△130,000
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△100,278	△16,087	△116,365
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	855	△128	7,266	7,138
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	△268	△268
株式報酬取引	—	—	—	200	—	200
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△118	183	64	—	—	—
所有者との取引額合計	△118	183	919	△230,206	△9,089	△239,295
2024年12月31日残高	△13,820	—	1,130,446	4,821,805	316,027	5,137,833

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素
2025年1月1日残高	290,809	458,254	3,073,530	△131,235	1,127,203	17,062
当期利益	—	—	393,836	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△261,053	△5,590
当期包括利益合計	—	—	393,836	—	△261,053	△5,590
自己株式の取得	—	—	—	△90,411	—	—
自己株式の処分	—	△17	—	17	—	—
配当金	—	—	△111,453	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△4,460	—	—	1,985	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	243	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△10,083	—	8,275	—
所有者との取引額合計	—	△4,233	△121,537	△90,393	10,260	—
2025年12月31日残高	290,809	454,020	3,345,830	△221,629	876,410	11,471

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	合計
					合計	合計
2025年1月1日残高	△13,820	—	1,130,446	4,821,805	316,027	5,137,833
当期利益	—	—	—	393,836	35,801	429,638
その他の包括利益	2,668	△411	△264,388	△264,388	949	△263,438
当期包括利益合計	2,668	△411	△264,388	129,448	36,751	166,199
自己株式の取得	—	—	—	△90,411	—	△90,411
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
配当金	—	—	—	△111,453	△81,181	△192,635
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	1,985	△2,475	4,205	1,729
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	△56	△56
株式報酬取引	—	—	—	243	—	243
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	1,396	411	10,083	—	—	—
所有者との取引額合計	1,396	411	12,069	△204,096	△77,033	△281,129
2025年12月31日残高	△9,755	—	878,127	4,747,158	275,745	5,022,903

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	1,298,811	1,173,473
減価償却費及び償却費	359,230	351,372
減損損失及び減損損失戻入益（△は益）	21,704	△19,848
資産除去債務の増減額（△は減少）	△2,515	12,914
金融収益及び費用（△は益）	△27,021	△38,033
為替差損益（△は益）	△7,043	△37,789
持分法による投資損益（△は益）	△104,831	△72,099
棚卸資産の増減額（△は増加）	718	3,960
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△17,795	28,977
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△15,571	△2,433
その他	16,869	10,317
小計	1,522,554	1,410,809
利息の受取額	120,453	101,208
配当金の受取額	21,424	21,520
利息の支払額	△58,938	△44,677
法人所得税の支払額	△950,756	△794,967
営業活動によるキャッシュ・フロー	654,737	693,893
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△180,689	△205,571
定期預金の払戻による収入	223,306	25,244
探鉱・評価資産の取得による支出	△47,678	△28,721
開発・生産資産の取得による支出	△244,404	△262,685
その他の有形固定資産の取得による支出	△8,979	△2,620
投資の取得による支出	△293,284	△516,684
投資の売却及び償還による収入	315,499	417,095
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△23,916	△28,142
事業の取得による支出	△40,907	△43,017
短期貸付金の純増減額（△は増加）	1,531	△15,268
長期貸付けによる支出	△76,629	△40,214
長期貸付金の回収による収入	93,379	44,256
その他	△7,628	△12,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,401	△668,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
コマーシャル・ペーパーの純増減額（△は減少）	79,980	219,514
短期借入金の純増減額（△は減少）	△23,230	75,382
長期借入れによる収入	75	—
長期借入金の返済による支出	△143,405	△102,751
リース負債の返済による支出	△24,160	△19,019
自己株式の取得による支出	△130,000	△90,411
配当金の支払額	△100,248	△111,412
非支配持分からの払込みによる収入	7,138	1,729
非支配持分への配当金の支払額	△16,087	△81,181
その他	0	△2,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	△349,937	△110,730
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	14,398	△85,571
現金及び現金同等物の期首残高	201,149	241,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,126	12,303
現金及び現金同等物の期末残高	241,675	168,407

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、報告セグメントの決定にあたっては事業セグメントの集約を行っておりません。

当社グループはグローバルに石油・天然ガスの探鉱、開発、生産、販売及びそれらを行う企業に対する投融資、すなわち「石油・天然ガス事業（以下「O&G」という。）」を主たる事業としており、報告セグメントを「国内O&G」及び「海外O&G」に区分し、「海外O&G」については、当社グループの主要オペレーター・プロジェクトである「イクシスプロジェクト」とそれ以外の海外プロジェクトから構成される「その他のプロジェクト」に区分しております。また、再生可能エネルギー・電力関連事業及びCCS・水素事業等、報告セグメントに含まれない事業については「その他」の区分としております。

報告セグメント及びその他の内容は以下のとおりであります。

報告セグメント等	主な事業及びプロジェクト名
国内O&G	南長岡ガス田、直江津LNG基地等
海外O&G	イクシスプロジェクト
	その他のプロジェクト
その他	再生可能エネルギー・電力関連事業、CCS・水素事業、原油販売代理仲介事業等

## (2) セグメント収益及び業績

報告セグメントの利益は連結損益計算書の親会社の所有者に帰属する当期利益で表示しております。セグメント間の取引は独立企業間価格で行っております。

当社グループの報告セグメントによる売上収益、利益及び他の項目は以下のとおりであります。

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

国内O&G	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結				
	海外O&G		その他の プロジェクト								
	イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト									
<b>売上収益</b>											
外部収益	216,953	373,263	1,657,921	17,699	2,265,837	—	2,265,837				
セグメント間収益	—	21,924	—	7,026	28,951	△28,951	—				
合計	216,953	395,187	1,657,921	24,726	2,294,789	△28,951	2,265,837				
探鉱費	△1,803	△42,790	△8,756	—	△53,350	—	△53,350				
持分法による投資損益	—	93,257	14,213	△2,639	104,831	—	104,831				
金融収益	3	116,745	26,220	2,524	145,493	3,997	149,491				
金融費用	△893	△58,600	△54,689	△4,785	△118,969	△3,499	△122,469				
法人所得税費用	△5,365	△46,982	△810,736	2,574	△860,509	△4,063	△864,573				
セグメント利益又は損失（△）	13,663	248,239	165,711	△14,545	413,069	14,274	427,344				
（その他の項目）											
減価償却費及び償却費	18,920	130,331	206,619	490	356,361	2,868	359,230				
減損損失（注）3	—	1,954	19,749	—	21,704	—	21,704				
探鉱・開発投資等（注）4	14,325	210,262	177,777	8,314	410,680	—	410,680				

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー・電力関連事業及びCCS・水素事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失（△）の調整額には、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社損益14,311百万円及びセグメント間消去取引△36百万円が含まれております。全社損益は、主に当社グループ全体で管理している為替差損益13,968百万円、親会社及び金融子会社の法人所得税費用のうち全社に帰属する金額△4,063百万円等であります。
- (2) 減価償却費及び償却費の調整額は、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない減価償却費及び償却費であります。
- 3 石油・ガス資産の減損損失であります。
- 4 探鉱・開発投資等は、主に石油・ガス資産のうち探鉱・評価資産及び開発・生産資産の取得による支出や石油・天然ガス・再生可能エネルギー等のプロジェクトへの参画及び追加投資に伴う株式取得支出に係る期中発生分の合計であり、当該金額には共同支配企業であるイクシス下流事業会社（Ichthys LNG Pty Ltd）における投資のうち当社グループの持分相当額を含めております。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

国内O&G	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結				
	海外O&G		その他の プロジェクト								
	イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト									
<b>売上収益</b>											
外部収益	192,176	315,069	1,486,928	17,176	2,011,351	—	2,011,351				
セグメント間収益	—	19,784	—	7,206	26,990	△26,990	—				
合計	192,176	334,854	1,486,928	24,383	2,038,342	△26,990	2,011,351				
探鉱費	△971	△62	△15,699	—	△16,733	—	△16,733				
持分法による投資損益（注）3	—	60,501	17,117	△5,520	72,099	—	72,099				
金融収益	13	90,166	23,941	2,550	116,672	3,521	120,194				
金融費用	△1,148	△35,157	△32,341	△8,134	△76,781	△5,379	△82,161				
法人所得税費用	△6,095	△35,503	△702,992	2,619	△741,972	△1,862	△743,835				
セグメント利益又は損失（△）	22,452	270,801	131,790	△28,795	396,249	△2,412	393,836				
（その他の項目）											
減価償却費及び償却費	19,892	109,040	218,949	707	348,590	2,781	351,372				
減損損失（注）4	—	—	21,405	—	21,405	—	21,405				
減損損失戻入益（注）4	—	—	41,253	—	41,253	—	41,253				
探鉱・開発投資等（注）5	15,460	64,360	283,717	26,502	390,041	—	390,041				

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー・電力関連事業及びCCS・水素事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失（△）の調整額には、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社損益△2,412百万円が含まれております。全社損益は、主に当社グループ全体で管理している為替差損益△1,013百万円、親会社及び金融子会社の法人所得税費用のうち全社に帰属する金額△1,862百万円等であります。

(2) 減価償却費及び償却費の調整額は、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない減価償却費及び償却費であります。

3 持分法で会計処理されている投資の減損損失を含んでおります。

4 石油・ガス資産の減損損失及び減損損失戻入益であります。

5 探鉱・開発投資等は、主に石油・ガス資産のうち探鉱・評価資産及び開発・生産資産の取得による支出や石油・天然ガス・再生可能エネルギー等のプロジェクトへの参画及び追加投資に伴う株式取得支出に係る期中発生分の合計であり、当該金額には共同支配企業であるイクシス下流事業会社（Ichthys LNG Pty Ltd）における投資のうち当社グループの持分相当額を含めております。

## (その他の営業収益)

当連結会計年度のその他の営業収益には、在外営業活動体に対する持分の部分的な処分を実施したことにより、在外営業活動体の換算差額の累計額を資本から純損益に振り替えた影響34,707百万円を含んでおります。これは、2030年代初頭の生産開始を目指すアバディLNGプロジェクトへの投資資金を計画的に準備すべく、イクシスLNGプロジェクトを構成するINPEX Holdings Australia Pty Ltdから、その株式を直接保有する(株)INPEX西豪州プラウズ石油に対し、資本金10,031,953千米ドルのうち1,110,000千米ドルを有償減資したことによるものであります。イクシスLNGプロジェクトは当面現在の生産量を維持する計画であり、生産量維持等を目的とした追加開発投資等が見込まれるもの、当該追加投資等の投資や財務活動に要する資金需要は、当該プロジェクトの将来の営業活動によるキャッシュ・フローで十分に賄える可能性が高く、INPEX Holdings Australia Pty Ltdの資本金が再び増加することやそれに類するグループ内ファイナンスを含む借入金の増加といった追加的な資金供与が見込まれないことから、当該有償減資は経済的実質を伴った在外営業活動体に対する持分の部分的な処分であると判断しております。

## (1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円）	427,344	393,836
親会社の普通株主に帰属しない当期利益		
甲種類株式への配当額（百万円）	△0	△0
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益（百万円）	427,344	393,836
利益調整額（百万円）	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益（百万円）	427,344	393,836
期中平均普通株式数（株）	1,237,578,149	1,190,484,943
希薄化性潜在的普通株式の影響		
役員報酬BIP信託（株）	848,454	928,860
希薄化後平均株式数（株）	1,238,426,603	1,191,413,803
基本的1株当たり当期利益（円）	345.31	330.82
希薄化後1株当たり当期利益（円）	345.07	330.56

(注) 基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定において、役員報酬BIP信託が保有する当社株式（普通株式）を自己株式として処理していることから、期中平均普通株式数から当該株式数を控除しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
国内O&G	原油	804千バレル (日量2千バレル)	763千バレル (日量2千バレル)
	天然ガス	30,111百万CF (日量82百万CF)	27,904百万CF (日量76百万CF)
	小計	6,290千BOE (日量17千BOE)	5,847千BOE (日量16千BOE)
	ヨウ素	558t	599t
	発電	189百万kWh	69百万kWh
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	11,831千バレル (日量32千バレル)
		天然ガス	344,221百万CF (日量940百万CF)
		小計	78,050千BOE (日量213千BOE)
	その他の プロジェクト	原油	127,877千バレル (日量349千バレル)
		天然ガス	101,133百万CF (日量276百万CF)
		小計	146,530千BOE (日量400千BOE)
		硫黄	160千t
	その他	発電	2,083百万kWh
合計		原油	140,511千バレル (日量384千バレル)
		天然ガス	475,465百万CF (日量1,299百万CF)
		小計	230,870千BOE (日量631千BOE)
		ヨウ素	558t
		硫黄	160千t
	発電	2,272百万kWh	2,493百万kWh

- (注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。
- 2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
- 3 上記の生産量は関連会社等の持分を含みます。
- 4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前連結会計年度は原油147,926千バレル（日量404千バレル）、天然ガス477,926百万CF（日量1,306百万CF）、合計239,792千BOE（日量655千BOE）、当連結会計年度は原油151,993千バレル（日量416千バレル）、天然ガス470,551百万CF（日量1,289百万CF）、合計241,746千BOE（日量662千BOE）となります。
- 5 BOE (Barrels of Oil Equivalent) 原油換算量
- 6 ヨウ素は、他社への委託精製によるものであります。
- 7 数量は単位未満を四捨五入しております。

## ② 受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

## ③ 販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)		当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)	
		販売量	売上収益	販売量	売上収益
国内O&G	原油	317千バレル	3,725	255千バレル	2,657
	天然ガス (LPGを除く)	91,961百万CF	192,781	80,159百万CF	168,835
	その他		20,447		20,683
	小計		216,953		192,176
海外O&G	イクシス プロジェクト	12,343千バレル	150,739	11,147千バレル	118,392
	天然ガス (LPGを除く)	309,674百万CF	222,523	306,630百万CF	196,676
	小計		373,263		315,069
	原油	126,319千バレル	1,544,937	133,271千バレル	1,399,457
その他の プロジェクト	天然ガス (LPGを除く)	72,032百万CF	109,591	60,028百万CF	82,329
	その他		3,392		5,141
	小計		1,657,921		1,486,928
	原油	—	12,662	—	9,783
その他	天然ガス (LPGを除く)	—	283	—	211
	その他		4,753		7,182
	小計		17,699		17,176
	原油	138,978千バレル	1,712,064	144,673千バレル	1,530,291
合計	天然ガス (LPGを除く)	473,667百万CF	525,180	446,818百万CF	448,053
	その他		28,593		33,006
	合計		2,265,837		2,011,351